

エゾシカによる食害調査結果（概要）

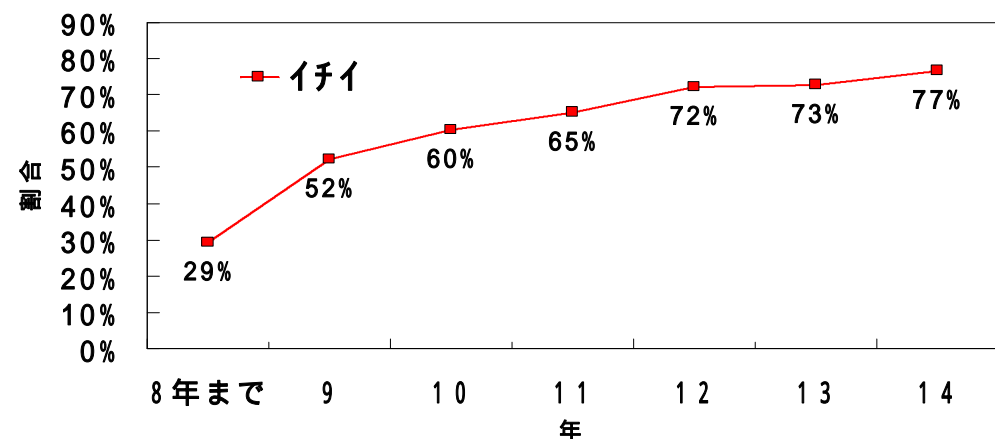
当センタ - では、平成9年より毎年、知床の国有林内でエゾシカによる樹木食害調査を行っています。樹木食害とはエゾシカが樹木の皮をはぎ取り食べてしまう被害で、樹皮を全周食べられると樹木が枯れてしまい、林業被害の拡大や森林生態系のバランスが崩れる可能性もあり深刻な問題となっています。

今回、4月に行った調査結果の概要をお知らせします。調査区の中でこの冬に食害を受けたイチイは98本でした。この内、初めて食害を受けたイチイは30本に及びました。

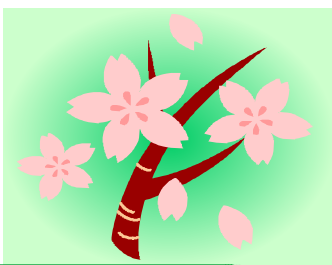
下の図はこれまでの被害の推移をあらわしたものです。平成8年から9年にかけて急激に食害が増え、その後は徐々に食害が増え続け、14年はイチイ全体の77%が1回以上の食害を経験しています。

このように、イチイへの食害が年々増え続け今では8割近いイチイが食害を受けていること、調査区はイチイの遺伝子資源保存林に指定されていることなどから、イチイを樹皮食害より保護する調査目的の為、12年の秋に食害防除用の網を調査区内のイチイ100本に巻き、その効果を経過観察しています。

イチイの食害推移（積算割合）



よろしくお願いします



4月1日付で総務係長として来ました、伊藤順一です。よろしくお願いします。斜里での勤務は約14年ぶりです。今まで森林管理署でやってきた仕事と内容が違うので少し戸惑いを感じますが、知床の自然相手にガンバっていきますのでよろしく。趣味の釣りや温泉巡り等も楽しみたいと思います。

知床の森から

平成14年5月発行 第78号



北海道森林管理局北見分局 知床森林センター

〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地

電話 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160

ホームページ <http://www.siretoko.knc.ne.jp/>

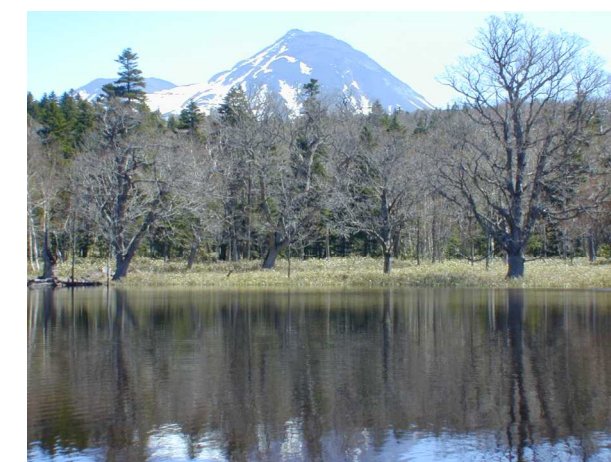


知床は今

今年は例年より雪解けが早く、10日ほど早く木の枝一面を飾ったエゾヤマザクラの花も葉桜となりました。事務所からあたりを見渡すと、茶色の木の枝が日に日に鮮やかな新緑に包まれ、タンポポの黄色い花があちらこちらに彩りを添えています。

冬の間交通規制されていた知床横断道路も連休の前日に半年ぶりの開通となり、さっそく、幻の沼といわれるポンホロ沼へ行きました。

例年ならば水量が多くて渡るのに苦労する沢は、流れが浅くて長靴で十分に渡れました。ポンホロ沼に近づくにつれて蛙の鳴き声が聞こえてきます。沼は例年より浅く、残雪の羅臼岳が正面に望める



羅臼岳を映すポンホロ沼

岸に立つと、水面に山容を映した沼と、芽ぶきの遅い木々が茶色く林立して静寂を保っています。

その森の中でウグイスの鳴き声が浮き立って聞こえています。湖水を覗くと、エゾアカガエルの卵からかえったばかりの小さなオタマジャクシが泳いでいます。

沼の縁を少し上ると、平地では咲き終わったキタコブシが今を盛りに白い大きな花をびっしり付けており、エゾヤマザクラのピンク色が斜面のあちらこちらに見られます。木々が芽吹いて新緑になるとより美しくなります。

ポンホロ沼の水が涸れるのは例年7月上旬ですが、今年の冬は暖かい日が多かったのですと早まりそうです。



咲き誇るキタコブシ

知床の森へご案内します

知床森林センターでは、「森林レクリエーション・in知床」、「森とのふれあい」などのイベントを開催し、皆さんを原生的な自然の残っている知床の森へご案内しています。夏の草花、秋の紅葉、冬の流氷など、いづれも選りすぐったコースです。四季それぞれの美しさを堪能してください。

また、今年度は斜里町立知床博物館の御協力を得て、より中身の濃いイベントにしていく予定です。

知床自然観察教育林

知床の自然が凝縮された形で見られる森林です。大木の生い茂った森林の中を、樹齢数百年のミズナラを見ながら、知床の森の奥深くへ入っていきます。幌別川の清流に連なる轟きの滝、クマゲラの滝を訪れます。途中にはクマゲラの巣穴やヒグマの爪痕もあります。

草木の開花に合わせて、今年は7月11日(木)に予定しています。



緑まぶしい知床の森

羅臼湖

知床半島の東側、標高約700mにある高層湿原です。知床横断道路沿いの遊歩道入口からハイマツの中を歩きます。途中の湿原には木製の歩道や展望台が整備されています。

天候が変わりやすく、晴天に恵まれる日は多くありませんが、それだけに晴れた時の景色は絶品です。

今年は8月27日(火)を予定しています。今年こそ晴れますように！



光り輝く羅臼湖



知床硫黄山新噴火口

道道知床公園線沿いの登山道入口から標高約600mの噴火口まで、森林の中や岩場など変化に富んだ風景を楽しみながらの登山です。新噴火口は今も硫黄混じりの水蒸気を上げていて、火口付近は岩石が地熱で風化し植物が全く育たないガレ場となっています。

今年は、紅葉の時期に合わせて、9月25日(水)を予定しています。



紅葉に染まる知床硫黄山

フレベの滝(乙女の涙)

オホーツク海に流れ落ちるフレベの滝の周辺の森林を「歩くスキー」で散策します。

滝の上部に広がる草原ではエゾシカの群れや流氷を眺めたり、原生的な姿をとどめた自然の森林を巡りながら、冬の知床を満喫できます。

真冬の時期、来年の3月4日(火)を予定しています。



オホーツクの流氷

この他にも、炭焼き体験や歩くスキーなどのイベントで皆さんを知床の森へご案内します。

具体的な日時や応募方法は、新聞、地域情報誌、自治体の広報誌、当センターのホームページ等でお知らせします。